

令和元年度 杉並区立桃井第五小学校 第4回 学校運営協議会議事録

1 開催日時

日時：令和元年 7月17日（水）18：00～19：30

場所：桃井第五小学校 解放会議室

2 出席者

大澤 学校運営協議会会長、天野 職務代理、丸山 委員、津吹 委員、石井委員、唐澤 委員、伊藤 委員、山岸 委員、木内 委員、川田 学校長、日向 副校長、桃五小教職員（観城 原嶋 小野崎 松田よ 田中ひ 上野 本間）

3 協議内容

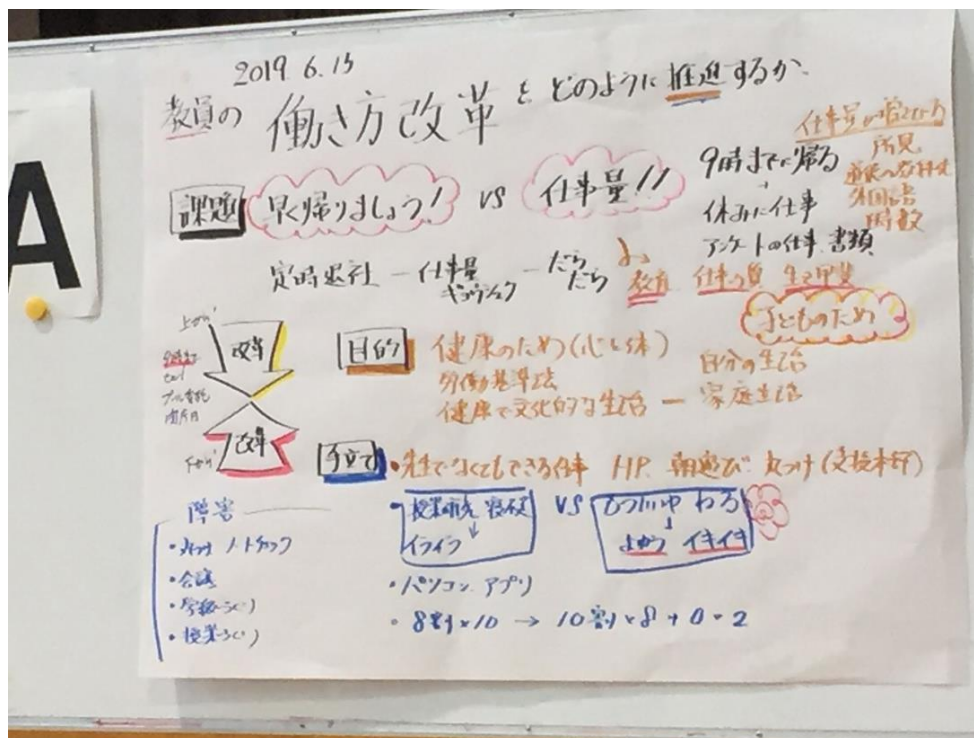
3.1 学校の様子について

- 各学年から
落ち着いて学習している。
学習内容が増えている。
慣れ合いも出てきている。
場に応じた対応ができています。
やらされている感が強い児童がいる。
ネットゲームが流行っている。
高学年は小さい子とのかかわりを楽しんでいる。
✿（はなまる）といわれたい気持ち強い。
それぞれが作りたい作品に取り組んでいる
6年生は和紙と筆に挑戦し、中学の水墨画につながるよう学習させている。
- 校長先生から
通知表作成の時期、道徳・英語が導入され、所見を書く量が増えている。
参考までに、通知票を保護者に渡すまでの作業工程の説明。
1回目、担任が下書きを作成。
2回目、学年で読みあい訂正。
3回目、管理職に提出し訂正。
4回目、評価本番と同じ形式で印刷。学年で読みあい訂正。
5回目、管理職に提出し訂正。
6回目、担任印、管理職印を押印して完成。
7回目、当日、出席日数等の訂正。
児童に配布。

3.2 ショートタイム研修の振り返り

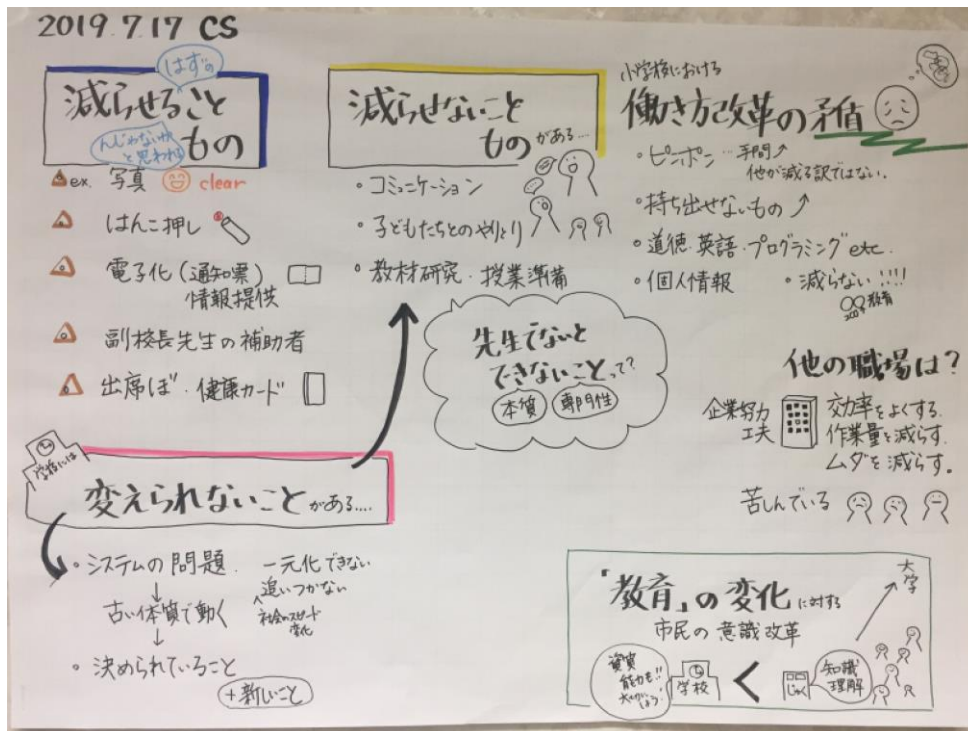
- 先月行ったショートタイム研修の振り返りとして、それぞれのテーマから1テーマを選び、深掘りを行った。今月は、その際のテーマとなった『桃井第五小学校の教員の働き方改革について』の深掘りとなった。

<以下、ショートタイム研修時のメモ>



- 働き方改革の施策はあるが、すべて縦割りで分断されてしまっている状態がある。
 - 例えば、入退室管理を導入したが、結局ハンコの押印も必要なため2重管理となっている。
 - 副校長先生など管理職はかえって手間が増えている感がある。
- あまりコストをかけずに…という風潮があり対策がこじんまりとしたものなる。
 - 一般企業でも、コストに関しては同じ部分が確かにある。
- 一般企業ではどうか？（委員の中に一般企業に勤めている方の意見も参考にしたい）
 - うまくいっているところもあるし、うまくいっていないところもある。
 - ✧ 隠れて残業しているやタイムカード切らずに休日出勤など。
 - ✧ 逆に会社の上が旗を振ってちゃんとやっている企業もある。
- 『学校』としての働き方改革に関しては、いかに事務的なものを少なくして、子供たちとの関わり合いを増やす方向にしていきたい思いが強い。
 - 例えば、今年度から遠足や行事の写真や集金をアウトソースし、先生の手間などを省いたが、時間的にはあまり実感がわいてないというのが本音。
 - ただし、何か一つが減ると他に『〇〇教育』という代わりのものが増え、結局は削減した効果あまり感じられない。（現時点で『〇〇教育』というものは200前後ある）
- 先生方が考える『これがなくなったら…』という作業にはどういうものがあるか？
 - 極端な話ではあるが、教科指導以外のことがなくなれば楽になるといえる。
 - ✧ ただし、これがなくなってしまうと『教員としてのやりがい』もなくなり、現実的ではないということも理解している。
 - 通知表のハンコの押印
 - 出席簿や健康カードの管理
 - ✧ 毎日手書き&紙ベースで健康室にも持っていくなど2重管理になっていて、同じことを何度もやっており、省力化できればという思いもある

- これがなくなれば…というのがどうしてもネガティブな方向なので、逆に『先生でなければできない事』を以下のように考えてみた。



- 保護者が小学生だった時と『教育』に対する変化もあり、保護者や地域を含めた市民側とともに寄り添いながら子供たちを支えていけるとよいと感じている。（良い意味で保護者や地域の方々が学校のサポーターとして協力体制ができれば）

ここで、時間となってしまう議論は一旦終了となった。直ぐには答えがでるというものではないが、一般企業の状況や学校特有の問題共有や立場を超えての意見を出し合い、良い意味で『辛口の親友』同士の有意義な議論の場となった。

4 次回の開催日程

- 令和元年 9月20日（金）18:00～19:30
- なお、まだ仮決めとなるが2学期の予定の調整を以下のとおり行った
 - 10月11日（金）18:00～19:30
 - 11月15日（金）18:00～19:30
 - 12月13日（金）18:00～19:30

以上